

第5章 本地区の将来構想図（目指す地区の姿）

「整備の基本的な方向性」や「本地区に必要な役割と機能」を踏まえ、本地区の将来構想図(目指す地区の姿)を示します。

● ● ● 駅近接エリアの整備コンセプト ● ● ●

- A**〔北口駅前広場を中心としたエリア〕
瀬戸線の開通や光総合病院の開院を見据え、利便性が高く通院者にもやさしい駅前空間の機能の再配置を行う。
- B**〔南口駐車場・駐輪場を中心としたエリア〕
駐車場機能を維持しつつ、民間活力の活用も視野に、土地の高度利用化も見据えた多様な都市機能の誘導・集約を検討する。
- C**〔南口ロータリーを中心としたエリア〕
海を意欲した開放的な空間づくりの検討とともに、Bと併せて利便性が高く安全な駅前空間の機能の再配置を行う。

具体化の例

「短期」の取組みの一例

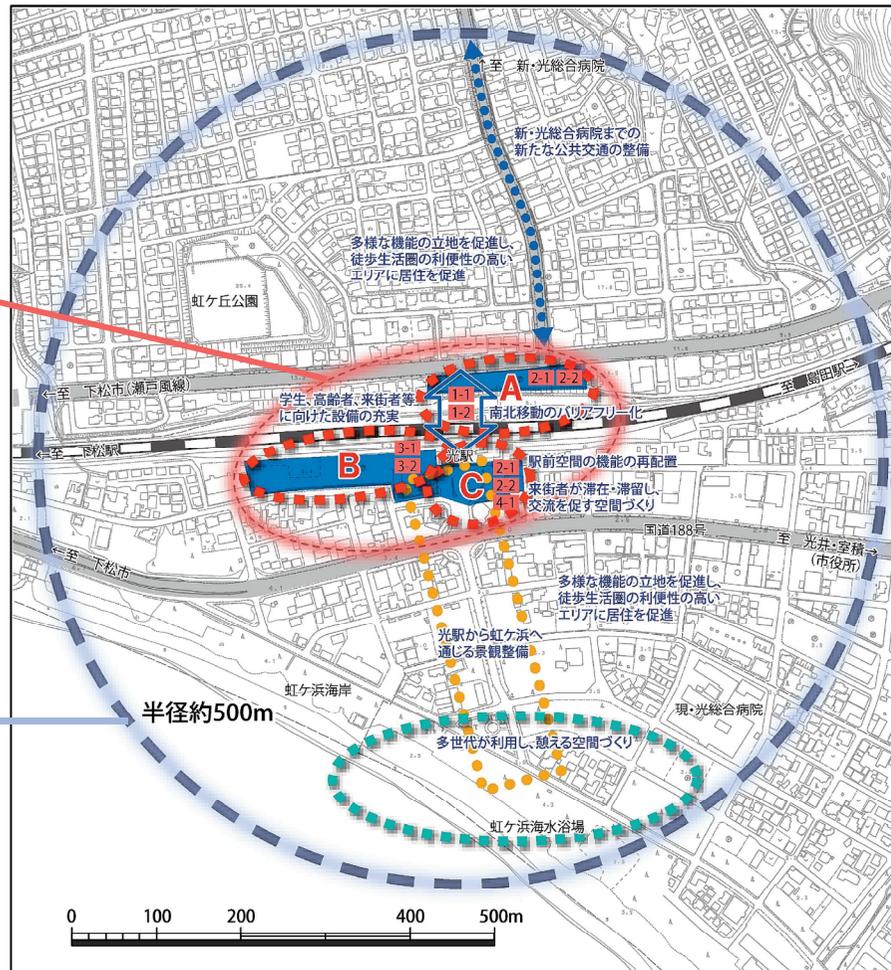
駅近接エリアのハード面を主とした整備

- 南側・北側エリアの結節強化、機能の充実
 - 1-1 JR光駅の橋上化と南北自由通路の一体的整備
 - 1-2 南北自由通路の充実（歩行者等）
- 市内外からの交通結節機能の充実
 - 2-1 南北駅前広場（駐車場・駐輪場、ロータリー等）の整備
 - 2-2 乗り換え、送迎環境の充実
- 駅近接エリアの利便性の向上
 - 3-1 待ち合い環境の充実や滞在空間の確保
 - 3-2 情報発信機能やトイレ等の便利設備の充実
- 多世代が滞在・交流できる空間の創出
 - 4-1 多世代が交流できる施設やオープンスペース（広場）の検討
 - 4-2 待ち合い環境の充実や滞在空間の確保（再掲）

「中・長期」の取組みの一例

魅力ある回遊空間の創出や居住促進につながる取組みを主とした整備

- 生活の質を高める多様な都市機能の誘導
 - 5-1 まちの個性や利用者ニーズに合わせた多様な施設等の立地促進（商業施設、子育て空間など）
- エキシバにある快適な住まいの確保
 - 6-1 居住誘導策の検討
- 生活の潤いを実感するレクリエーション空間の創出
 - 7-1 虹ヶ浜海岸の保全と活用
 - 7-2 ウォーキングなどを楽しめる回遊ルートの検討
- 自然と調和するシンボリックな景観づくり
 - 8-1 「まちの顔」としてシンボルとなる施設や空間の検討
 - 8-2 光駅～虹ヶ浜海岸の連続性演出の検討
- 観光資源の付加価値創出と魅力の波及
 - 9-1 虹ヶ浜海岸の保全と活用（再掲）
 - 9-2 フォトジェニックな空間の演出



協働・連携の実現
ソフト事業を見据えた整備の検討

同時検討・実施

同時検討・実施

協働・連携の実現
ソフト事業の随時検討・実施

安全・安心に関する取組み

- 移動の安全性を高める機能やデザインの実現
 - 10-1 エリアの一体的、連続的なバリアフリー化に向けた検討
 - 10-2 わかりやすい案内サインの検討
- 安心して利用できる防犯性や交通安全の確保
 - 11-1 照明設備などの設置促進
 - 11-2 乗り換え、送迎環境の充実（再掲）
- エリアの防災性の確保
 - 12-1 一時的な避難場所となるオープンスペース（広場）の検討
 - 12-2 災害に対応する設備等の検討

＜施策ごとの事業主体区分＞

施策	短期				中・長期					安全・安心			協働・連携		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
市	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
民間	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎

※民間：民間事業者、市民、関係団体等
※◎…主たる実施主体、○…一部実施主体、連携主体

協働・連携による取組み

- 民間と行政が連携して取り組む事業の推進
 - 13-1 民間と行政が連携した施設整備や機能誘致の検討
 - 13-2 民間活力による地域づくりの調査・研究

- 協働と連携の空間づくり
 - 14-1 多世代が交流できる施設の検討（再掲）
 - 14-2 エリア一体で、多様な主体が連携するイベント等の仕掛け

- まちづくりに触れる機会の提供
 - 15-1 ワークショップなどの新たなまちづくりの担い手を育成する取組みの推進
 - 15-2 エリア一体で、多様な主体が連携するイベント等の仕掛け（再掲）

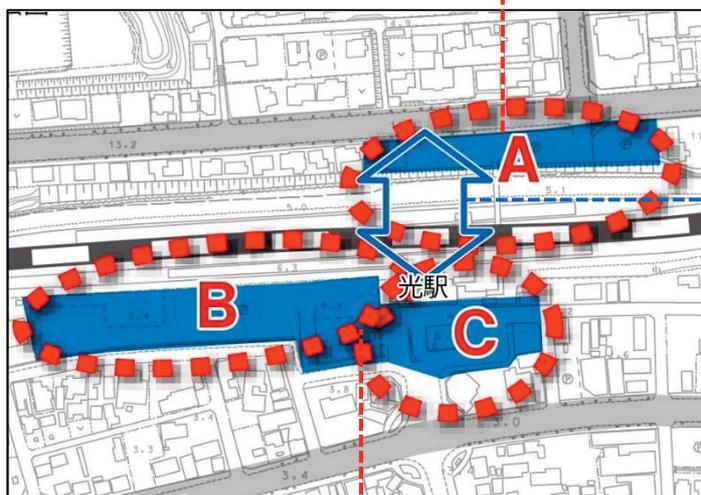
【参考】 駅近接エリアの取組み（短期）まとめ

〔A 北口駅前広場を中心としたエリア〕

瀬戸風線の開通や光総合病院の開院を見据え、利便性が高く通院者にもやさしい駅前空間の機能の再配置を行う。

《取組みの一例》

- ② 市内外からの交通結節機能の充実
 - ・駅前広場（駐車場、駐輪場、ロータリー等）の整備
 - ・乗り換え、送迎環境の充実



〔南北地区結節軸〕

誰もが地区間を自由に、安全に、円滑に移動できるよう、駅と一体的なバリアフリー化に向けて取り組む。

《取組みの一例》

- ① 南側・北側エリアの結節強化、機能の充実
 - ・JR 光駅の橋上化と南北自由通路の一体的整備
 - ・南北自由通路の充実（歩行者等）
- ③ 駅近接エリアの利便性の向上
 - ・待合環境の充実や滞在空間の確保
 - ・情報発信機能やトイレ等の利便施設の充実

〔B 南口駐車場・駐輪場を中心としたエリア〕

駐車場機能を維持しつつ、民間活力の活用も視野に、土地の高度利用化も見据えた多様な都市機能の誘導・集約を検討する。

〔C 南口ロータリーを中心としたエリア〕

海を意識した開放的な空間づくりの検討とともに、Bと併せて利便性が高く安全な駅前空間の機能の再配置を行う。

《取組みの一例》

- ② 市内外からの交通結節機能の充実
 - ・駅前広場（駐車場、駐輪場、ロータリー等）の整備
 - ・乗り換え、送迎環境の充実
- ④ 多世代が滞在・交流できる空間の創出
 - ・多世代が交流できる施設やオープンスペース(広場)の検討
 - ・待合環境の充実や滞在空間の確保